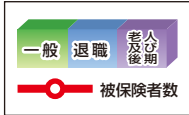


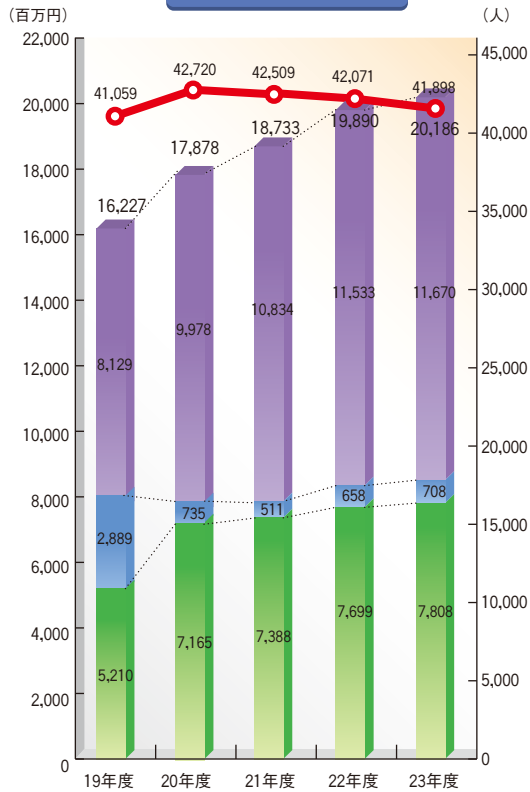


日光市

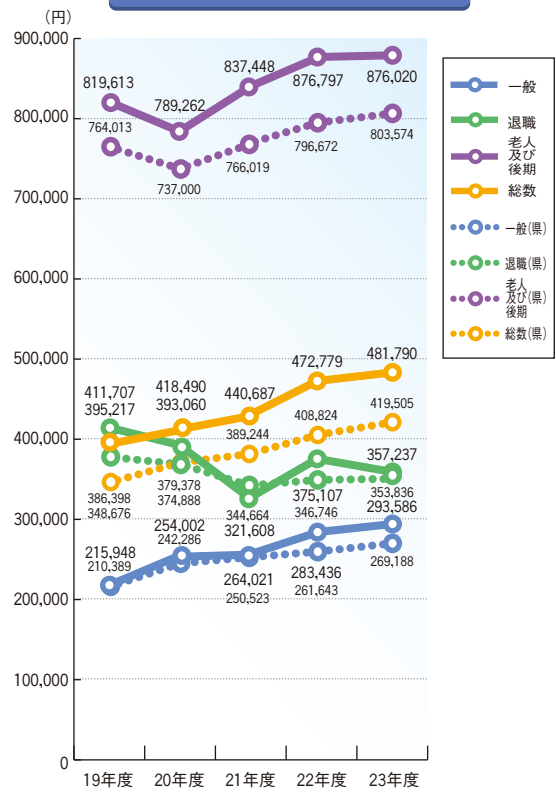
日光市



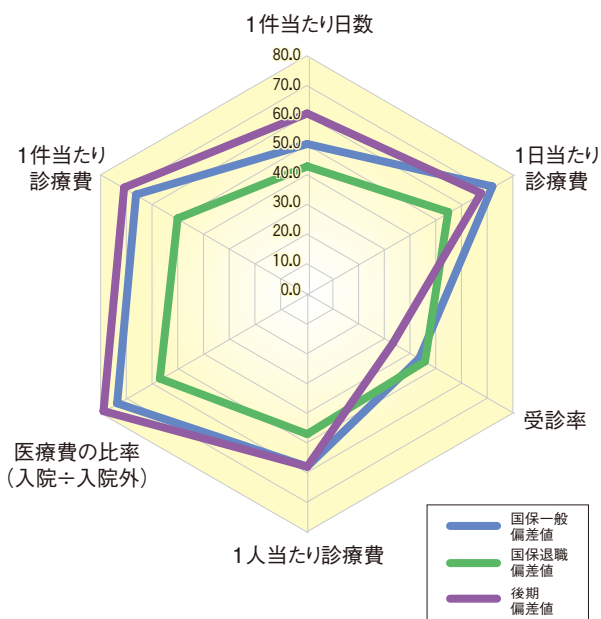
医療費の推移



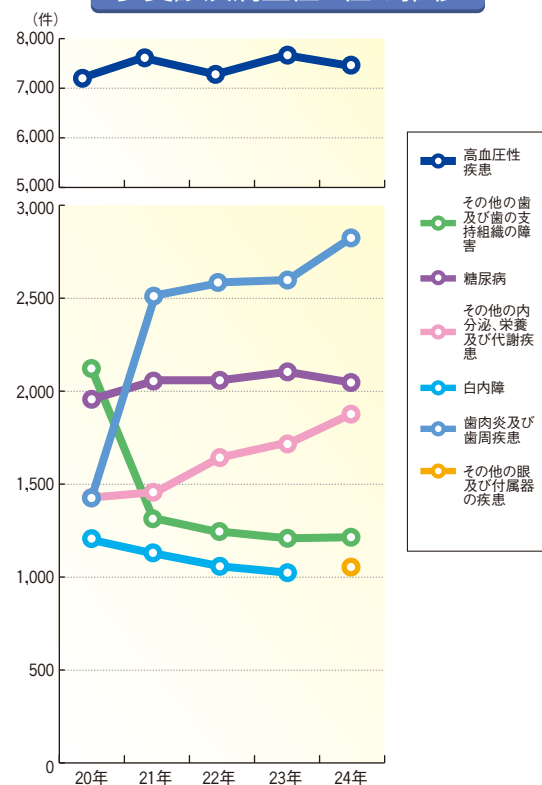
1人当たり医療費の推移



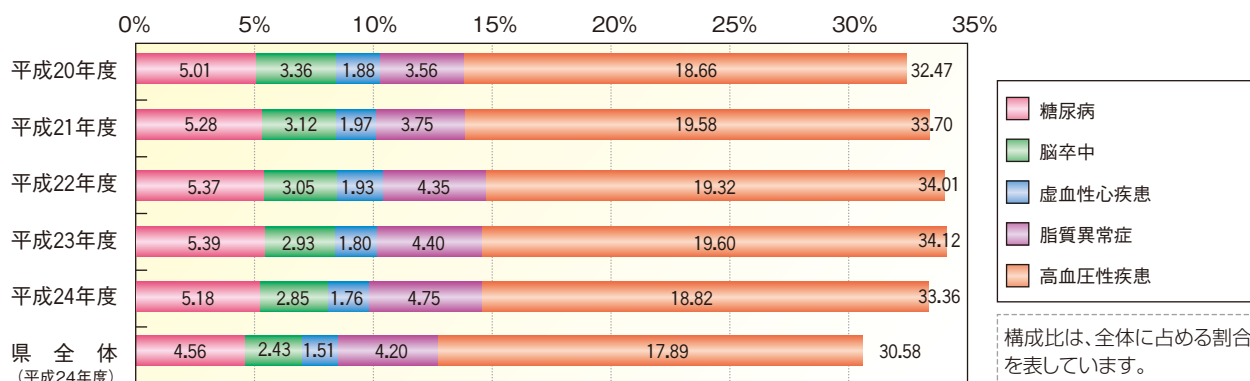
平成23年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)



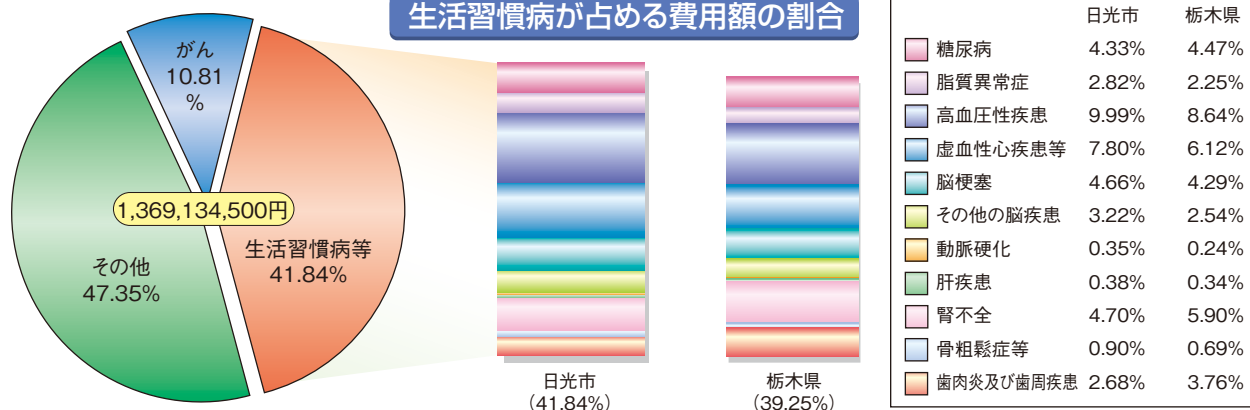
多受診疾病上位6位の推移



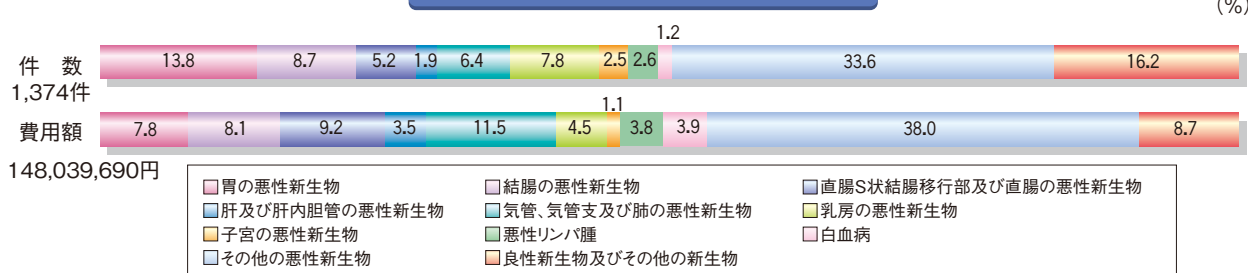
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



日光市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成23年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般7,807,638(101.4%)、退職708,043千円(107.6%)、後期11,670,344千円(101.2%)で、全体では20,186,025千円(101.5%)と増加している。()は前年度との比較。

平成23年度平均被保険者数は41,898人で、内訳は一般26,594人、退職1,982人、後期13,322人である。前年度と比較すると全体で99.6%とほぼ変化はない。

また、平成23年度1人当たり医療費の推移をみると、総数は481,790円(9,011円減)、一般は293,586円(10,150円増)、退職は357,237円(17,870円増)、後期は876,020円(777円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、いずれの法別も1日当たり診療費、医療費の比率が高い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成24年5月診療分において件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位その他の歯及び歯の支持組織の障害、6位その他の眼及び付属器の疾患で、中でも4位のその他の内分泌、栄養及び代謝疾患は、平成20年と比較して、件数・費用額共に1.3倍になっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ、5疾病全て高い構成比になっている。

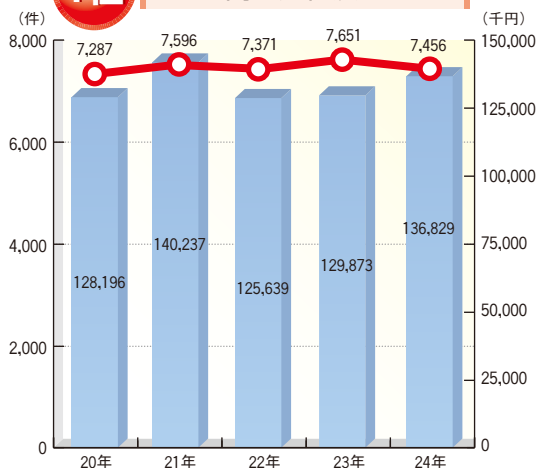
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成24年5月診療分の総費用額が1,369,134,500円で、がんが10.81%、生活習慣病関連が41.84%を占めている(県全体 がん11.84%、生活習慣病関連39.25%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.99%、虚血性心疾患等7.80%、腎不全4.70%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合では、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

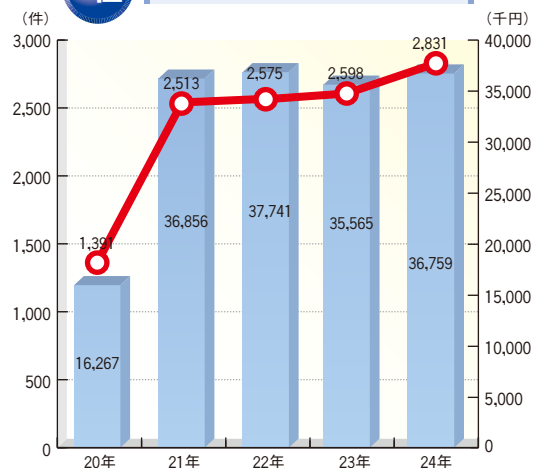
1位

高血圧性疾患



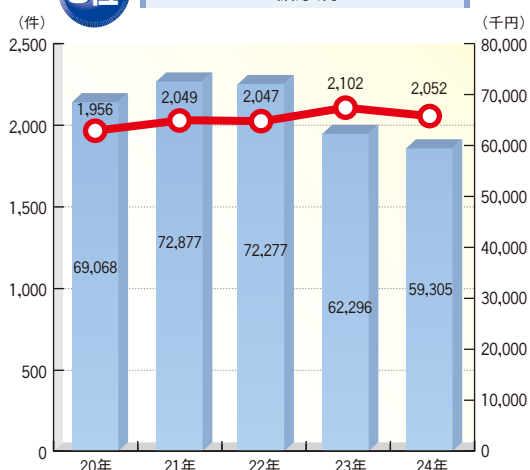
2位

歯肉炎及び歯周疾患



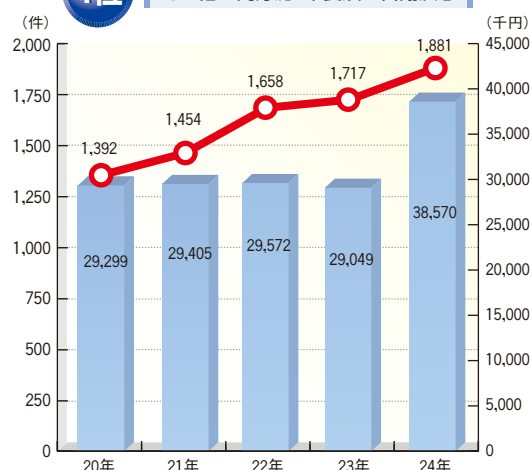
3位

糖尿病



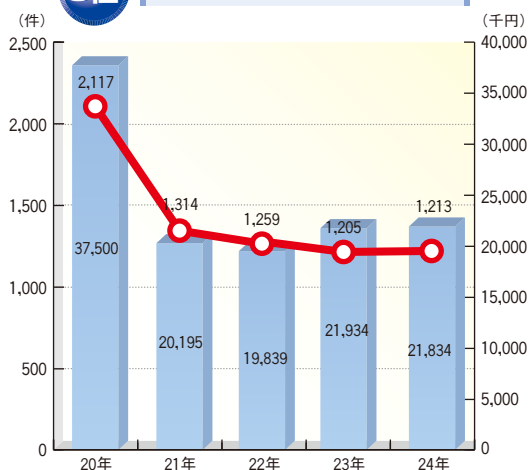
4位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位

その他の歯及び歯の支持組織の障害



6位

その他の眼及び付属器の疾患

